

安城ロータリークラブ
週報

【 No.656 2014/10 第3例会 】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F
安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

第2797回例会

2014年10月17日(金) 12:30～13:30

司会者：加藤 正人君

ソング：「それこそロータリー」

卓上花：かすみ草・ガーベラ

ゲスト及びビジター： ガバナー ユウスケ 近藤 雄亮様 名古屋瑞穂RC
地区幹事 タカス ヒロシ 高須 洋志様 名古屋瑞穂RC



2014-2015年度RIテーマ：

「ロータリーに輝きを」

安城ロータリークラブ会長方針：

「楽しいロータリーを創ろう」

- 会長：永谷 文人
- 幹事：横山 真喜男
- クラブ会報：亀島深里・辻隆士・海野広明
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日



2015年ロータリー国際大会
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

■ 会長挨拶

永谷 文人会長

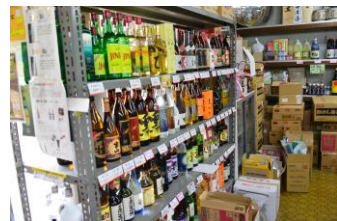
① 絵手紙紹介



② 会員紹介

◆ (有)マルコウ酒店(加藤 弘君)

◆ (株)竹豊物流(加藤 正人君)



■ 幹事報告

横山 真喜男幹事

1. 本日例会終了後大会議室にてロータリー情報委員会を行います。
2. 10/24(金)を10/25(土)に例会変更いたします。
当日は安城RCロータリーデーということで、デンパークにて行われます『ハロウィンダンスパーティー』協賛という形で行う事となりました。
それに伴い、12:00～デンパーク内・デンパーク館2F 研修室にて移動例会をおこないます。
尚、入場券に関しましては、安城広報10月1日号に無料券(2名×2枚)がついておりますので切り取ってお使いください。チケットのない方は、事務局まで相談ください。
3. 10/25(土)丸山光夫邸にて
17:00～ロータリー情報委員会主催「ワインでハロウィンパーティー」が行われます。
協賛していただける企業も募集しております。宜しくお願い致します。
4. 11/21(金)の例会は、夜間例会18:30～川本に変更いたします。

■ 出席報告

山田 庸雄君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	37名
欠席	9名
出席免除者の出席	13名
出席率	84.75%
修正出席率	10月3日 2795回 100%

■ ニコボックス報告

石川 義典君



■ ガバナー公式訪問

ガバナー 近藤 雄亮様

◆ 卓話

ゲイリーC.K.フォアンRI会長がRI会長代理として日本にこられた時の話をさせていただきます。

昔々、二人乗り高級スポーツカーを所有するロータリアンがおりました。彼はハイウェイでも田舎道でも、愛車を乗り回しておりました。ある日のこと、彼が人の通わぬ田舎道をドライブしていた時、3人の人が道端で助けを求めているのを目にしました。彼らは皆、町へ出るのに助けが必要とのことでした。

- 一人目は年老いたご婦人で、重い病に苦しんでおりました。
- 二人目はロータリーに関わりのある人で、彼はこのロータリアンの母親の命を、かつて救ってくれたお医者さまでした。
- 三人目はこのロータリアンの隣に住む美しい娘さんで、彼はこの人とお付き合いをしたいと長らく望んでおりました。

彼は、この人達を助けることにし、車を止めました。

しかし、どうやって助ければいいのでしょうか？

この車にはもう一人しか乗せることができません。

誰を最初に助けるべきでしょうか？

この話を私が台湾でした時、さまざまな答えが返って来ました。

- 重い病に苦しむ老婦人を最初に救うべきだと言う人
- 彼の母親を救った医師を優先すべきだという人
- 将来彼と結婚してくれるかもしれない、若く美しい女性を最初にすべきだという人

さまざまでした。絶対的に正しい答えはないと思いますが、皆様はどう思われるでしょうか。

私の答えはこのどれでもありません。

私の答えは、彼が車を降りて、二人目の、お医者さんに、老婦人をつれて運転をさせてもらうことです。

もし、途中でこの老婦人の容態が悪くなれば、彼がどうにかできるでしょうし、首尾よくこの老婦人を病院へ送り届けられた際には、誰かに頼んで、後に残った二人に大きな車で迎えをよこすことができます。

一方、後に残った車の持ち主であるロータリアンは、迎えを待つ間、この美しい女性と共に過ごせます。

上手くいけば、この女性の心をつかむことができるかもしれません。

この話によって、私は二つのことを皆様に伝えたいと思います。

- 第一に、私たちは人生において、さまざまな選択肢を与えられています。時に私たちは、よく考え、物事を違った角度から眺めなくてはなりません。正しい選択をすることは、与えられた機会を最大限生かしてくれます。
- 第二は、ロータリーが誕生して100年以上になります(2015年には110周年を迎えます)。ロータリー財団が誕生して90年以上になります(2017年には100周年を迎えます)。このことは、私たちがプロジェクトの管理運営と募金活動において、優れた、豊富な経験を積み重ねてきたことを意味します。過去何年もの間に、ロータリーとロータリー財団は、経験豊かで献身的なロータリアンを多数擁するに至りました。私たちの多くは長年ロータリーとともに歩み、ロータリーは私たちの人生の一部になっています。しかしこのことは、私たちがロータリーという車の運転席に座ってこの車のハンドルを常に握っていないとすることはできません。時にはハンドルを手放し、運転席を離れることによって新しいものの見方ができるようになるのです。また、私たちより若く、エネルギーと情熱に満ちあふれた若い世代のロータリアンに運転を任せることによって、より多くのことをなし遂げられるかもしれないのです。ロータリーは新たな経験を導入することで、より豊かになるでしょう。そして、さらに重要なことに、私たちは時として、捨て去ることで、かえって人生をより謳歌できることがあるのです。と話されました。

